2009年11月15日発行



**特集：「インフルエンザ・感染症」**

**新型の豚インフルエンザは、多くの人が免疫を持っていないため通常のインフルエンザに比べ、感染が拡大し、WHO（世界保健機関）より「フェーズ６」、パンデミック（世界的大流行）の宣言がされました。**

**これからの「第２波」に向け、信憑性の低い情報や噂に惑わされることのないよう、図書館で病気に対する正しい知識を手に入れ、職場において冷静な対応ができるようにしておきましょう。**

★図書

『[パンデミック](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001613881&CTG=1&RTN=01&SID=000435804&RTNPAGE=/search.shtml)－感染爆発から生き残るために－』　小林照幸著　新潮社　2009.2

感染症の歴史と数々の病状、対策の最前線に迫る。

『[インフルエンザパンデミック](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001683984&CTG=1&RTN=01&SID=000435806&RTNPAGE=/search.shtml)－新型ウイルスの謎に迫る－』　河岡義裕ほか著　講談社　2009.9

はたして新型ウイルスは人類を脅かす存在なのか。最新の研究成果をもとにインフルエンザウイルスにまつわるミステリー

を解明する。

『[新型インフルエンザ・クライシス](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001683492&CTG=1&RTN=01&SID=000435807&RTNPAGE=/search.shtml)』　外岡立人著　岩波書店　2009.9

新型インフルエンザは強毒型ではないが、流行が続いている。社会はどう備えるべきかを考える。

『[Ｑ＆Ａ新型インフルエンザ対策マニュアル](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001648786&CTG=1&RTN=01&SID=000435808&RTNPAGE=/search.shtml)』　賀来満夫監修　中山書店　2009.6

新型インフルエンザの疫学や、発生時のシミュレーションを解説し、行政・管理体制、予防・治療法、医療機関、市民生活、職場などに

関するＱ＆Ａを豊富に掲載。

★関連するホームページ

『国立感染症研究所　感染症情報センター』<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

右側メニュー「新型インフルエンザ」から流行状況をはじめ様々な情報を確認。

『首相官邸』<http://www.kantei.go.jp/>

左側メニュー「新型インフルエンザへの対応」から政府の最新の対応状況、厚生労働省等各省庁の関連情報

へのリンクあり。

『静岡県』<http://www.pref.shizuoka.jp/>

県からのお知らせ、重要情報「新型インフルエンザに係る情報をお知らせします。」から静岡県の

関係情報へのリンクあり。

今月のピックアップー新着資料から

今や がんは日本の死因の第２位。誰がいつがんになっても不思議ではありません。本書は、高いがん治癒率を誇る大阪府立成人病センターの臨床現場のエキスパートたちが、新聞に連載したものです。予防と健診、診断から治療、最新の医療と研究、病院とのつきあい方、ケアと支援について、とがんの基礎知識が網羅されています。見開きごとに一テーマと、とてもわかりやすくまとまっています。

例えば、がん予防の６カ条。

1. 禁煙と防煙
2. 迷わず受けよう胃・大腸・乳・子宮頸がん検診
3. 肝がん予防（まずは肝炎ウィルスチェック）
4. お酒（飲むなら男性一日一合、女性半合）
5. 適度な運動と適正体重の維持
6. 食事（塩分少なく野菜多く）

健康で充実した毎日を送るために、また、まさかの時のために、一読しておいてはいかがでしょうか。

『[がんを治すチカラ](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001682212&CTG=1&RTN=01&SID=000435829&RTNPAGE=/search.shtml)』

大阪府立成人病センター編　毎日新聞社



レファレンス事例

*三十五銀行三島支店*は中村與資平という建築家が

設計したらしい。いつどこにあったのか。

**「レファレンス　サービス」とは？**

司書が、あなたの調べたいことについて、資料や情報を探して紹介したり、調査法などの相談に応じるサービスです。

**＜回答＞**

昭和12年の時点では、三島町久保町（現在の中央町1-36　現在三菱東京ＵＦＪ三島支店がある場所）に建っていた。中村與資平氏が設計した建物は、昭和2年の設計図が浜松市立図書館にある。昭和7年の写真には建物が写っているが、その後何年まであったかわからない。

**＜調査過程＞**

１　　三十五銀行について調べる。図書館のホームページで、蔵書検索の「タイトル」の欄に「三十五銀行」と入力して検索。『[静岡銀行史](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=000598126&CTG=1&RTN=01&SID=000419402&RTNPAGE=/search.shtml)』がヒット。明治10年に静岡三十五国立銀行設立認可とある。昭和18年3月　静岡三十五銀行と遠州銀行が合併して静岡銀行となっている。

『三十五銀行沿革誌』(県立図書館所蔵)に**大正12年4月20日**田方郡*三島町支店*を開業とある。

２　　設計者の「中村與資平」について調べる。『[中村與資平資料目録](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=000597990&CTG=1&RTN=01&SID=000420536&RTNPAGE=/search.shtml)』浜松市立図書館編発行等あり。この本に「*三十五銀行三島支店*鉄筋詳細図」**昭和2年10月24日**と設計日付の記載あり。

浜松市立図書館に設計図を確認依頼。設計日付のみで、建築場所、日付は記載なし。

『[静岡県歴史人物事典](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=000252292&CTG=1&RTN=01&SID=000420487&RTNPAGE=/search.shtml)』を調べる。明治13年浜松生まれ。日本人として海外に拠点をおいて活躍し

た最初期の建築家の一人。現存する建物として、静岡銀行本店、静岡市庁舎などがある。

３ 　三島の明治、大正、昭和初期のことが書かれている資料の内容を直接確認。

**大正13年**｢*三十五銀行三島支店*久保町　電話番号57番｣『[三嶋局電話番号表](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=000757020&CTG=1&RTN=01&SID=000432278&RTNPAGE=/search.shtml)』より（これは

中村氏の設計した建物ではないと思われる）

**昭和７年**　「震災から復興した三島商店街」という写真に*三十五銀行三島支店*と思われる建物

の写真あり（久保町通り）『[ふり返る２０世紀](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=000616127&CTG=1&RTN=01&SID=000420143&RTNPAGE=/search.shtml)－三島１００年の証言－』より

**昭和12年**三島町の商店街図に「*静岡三十五銀行三島支店*」（現在の三菱東京ＵＦＪ銀行三島

支店島支店の場所）がある。　『[心に残る三島と箱根山](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=000612576&CTG=1&RTN=01&SID=000420145&RTNPAGE=/search.shtml)』『[みしま町（三島町）](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=000821279&CTG=1&RTN=01&SID=000420147&RTNPAGE=/search.shtml)』　より

**昭和19年**合併して静岡銀行久保町支店となったが、店舗廃止。『[静岡銀行史](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=000598126&CTG=1&RTN=01&SID=000419402&RTNPAGE=/search.shtml)』より

４ 　三菱東京ＵＦＪ銀行三島支店は2002年までは三和銀行。三和銀行について調べる。

昭和20年12月17日　三和銀行三島支店開設　『[三和銀行史](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=000256911&CTG=1&RTN=01&SID=000420149&RTNPAGE=/search.shtml)』より

**（＠ｏ＠）！**本の内容全ては検索できない。検索しても探しているものがヒットしないことがある。その場合探している時代について書かれている資料を1冊づつ内容確認することが必要。

図書館のしごと紹介

「図書特別整理の仕事」

図書館は年に一度連続して休館し、「図書特別整理」という作業を行っています。商店などで言うところの「棚卸」です。今回はこの仕事を説明します。

≪作業の流れ≫

①すべての資料を資料につけられた請求番号順に正しく配列する。

②すべての資料のバーコードを１冊ずつ専用の機械で読み取る。

* 棚の最上段は脚立にのり、下の段は座りこんで行います。ほこりまみれになり、マスク・軍手が必須です。

１日１人あたり約6,600冊を点検する作業はかなり体力を消耗します。

③読み取ったデータを蔵書目録と突き合せ、データ上はあるが書架になく、貸出中にもなっていない「不明資料」を手分けして探す。

④督促作業や棚移動等、館内に利用者がいる時にはできない作業を行う。

本館で所蔵している約36万点の資料の所在を１点ずつ確かめ、データ（台帳）と照合する総点検は、市民の共有財産である資料を管理し、確実かつ迅速に提供できるようにするために欠かせない作業です。

※　本館休館期間　　　　平成21年12月1日（火）～９日（水）　（11月30日は定例休館日）

※　中郷分館休館期間　平成22年１月27日（水）～28日（木） 　（１月29日は定例休館日）

**図書館は、三島市職員向けにメールマガジンを発行しています。**

**ご意見・ご質問は図書館本館へ。電話９８３－０８８０（内線６３８９）**

<http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/>